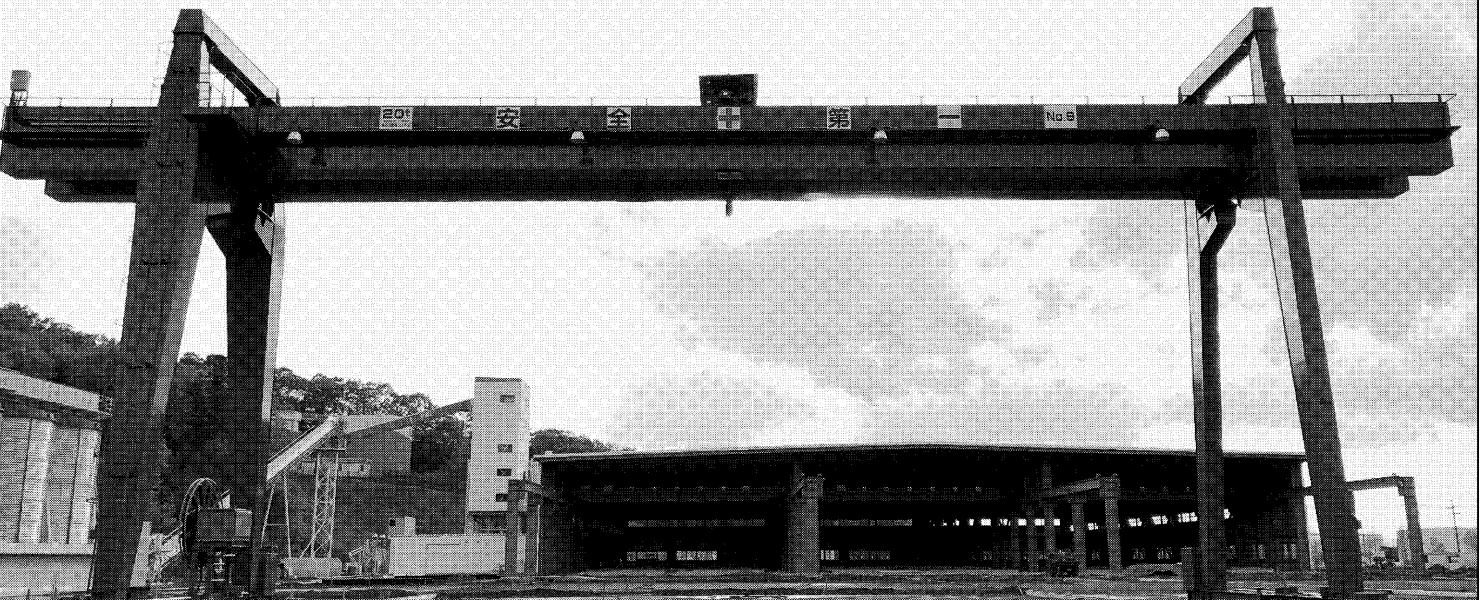


安全と努力で造る総合力でお客様に奉仕する。

関西で唯一のクレーン専業メーカー、菱井工業。



クレーシのことなら菱井工業

(軌条形天井クレーン、橋形クレーン、片脚橋形クレーン、その他)

作業の効率化・低コスト化を推進
高品質な製品とスピーディーな即応力が
私たちのプロフィール。

ユーザー各社様の厚い信頼に支えながら、先端技術の発展と共に着実に成長、さめ細やかなサービスと卓越した開発力で、クレーン製造技術の未知なる可能性を追求しています。

クレーン製造技術をはじめ、物流搬送システムの幅広い分野でトータルに活躍。



URL <http://www.hishiikougyou.co.jp>

本 社 〒578-0967 大阪府東大阪市新鴻池町2番2号
TEL.072-961-1565(代) FAX.072-963-6159
関東営業所 〒272-0138 千葉県市川市南行徳2丁目9番34号
TEL.047-887-0236(代) FAX.047-887-0236

E-mail:crane@hishiikougyou.co.jp

安全・迅速・環境にやさしい

具（スプレッダ）を備えたものはコンテナクレーンとも言い、埠頭などでのコンテナの荷役作業で使用する。操縦室は高所に設置され、操縦者は足元の窓からコンテナの位置を確認。スプレッダをコントローラーにむかって降ろし、固定して運搬する。これら以外のクレーンは、アンローダ、ケーブルクレーン、テルハ、スタッカークレーンに分類される。その他種類に、移動式クレーンやデリックがある。

く利用されるクレーンは安全対策の必要性が高く、安全性・操作性向上などの配慮がなされてきた。労働災害ゼロを目指し日本クレーン協会とボイラ・クレーン安全協会で、毎年9月30日を「クレーンの日」として啓発活動をするなど、クレーン関係者は安全対策に知識を絞っている。

またクレーンと切つ

小回りが利き、現場を縦横無尽に走り回ることができる「フォークリフト」も、運搬・荷役作業の強い味方だ。

「フォークリフトは動力の種類で「電気式(バッテリー式)」「内燃機関式(エンジン式)」「ハイブリッド式」「ギヤパシタ・ハイブリッド式」に分かれ、エンジン式ではさらに「ガソリン車」「ディーゼル車」などに分類される。現在は、このうちバッテリー式の利用が拡大してきている。倉庫や工場内など屋内で

ガスによる作業現場の汚染、貨物への悪影響を削減するのが目的だ。日本産業車両協会(IVVA)がまとめた17年1~11月のフォークリフト国内販売台数(速報値)は7万2646台。うちバッテリ式が4万4702台、エンジン式が2万台、7944台となつている。バッテリー式は全体の61・5%と過半数を占めており、近年ますます増加傾向にある。

さらに、次世代フォークリフトと呼ばれる「ハイブリッド」(ハイブリッド)が開発され、使用する側の双方で安

トは、水素と酸素の化學反応で発電された電力を利用する。従来のバッテリーフォークリフトと同様の性能で、二酸化炭素(CO_2)排出量の削減をメインに多くのメリットが期待されている。

このほかにもさまざまなかたちで、多種類の運搬・荷役関連機器が現場の作業をサポートしている。いずれも製造する側、

運搬・荷役作業の強い味方

コンテナ専用のつり具（スプレッダ）を備えたものはコンテナクレーンとも言い、埠頭などでのコンテナの荷役作業で使用する。操縦室は高所に設置され、操縦者は足元の窓心にしておひだりより吊き上げ装置などに利用されるワイヤロープ。ワイヤロープは、素線と呼ばれる鋼線をより合わせた「ストランド」を、「心綱」を中心にしておひだりにより合

わせて作る。引っ張り
強度が高く、柔軟性に
富み、耐衝撃性に優れ
るなどの特性を持つ。
建設機械のほかエレ
ベーターや海上土木現
場、大型ゴンドラな
ど、その多くは命にか
かわる現場で使用され
ている。このため、使
用にあたっては特性を
よく理解した上で取り
扱いに注意し、用途に
合わせた種類を選び、
安全点検を怠らないこ
とが大切だ。